

看護学部 看護学科

2021年度入学生カリキュラム

<カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** p.2
 教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。

- ◆ **カリキュラム・マップ^o [武蔵野 INITIAL・学科科目]** p.3
 科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。

- ◆ **卒業所要単位数** p.5
 必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。
 ※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。

- ◆ **開講表 [武蔵野 INITIAL]** p.6
 武蔵野INITIAL(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。

- ◆ **開講表 [学科科目]** p.8
 学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。

- ◆ **履修モデル** p.10
 学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。
 ※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認したうえで履修計画を立ててください。

付録：卒業所要単位数表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

看護学科 カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに基づき、学生が自分の将来の目標実現に向かって、学力および看護実践能力を高めるために必要とされる知識・技術・態度を体系的に修得できるようカリキュラムを準備しました。

1年次では、大学における学修の基礎力を養うための全学共通基礎教育課程である「武蔵野INITIAL」の諸科目を学びます。武蔵野INITIALの科目を通して、大学生としての基本的な知識や卒業後に求められる教養力、人格や態度、基本的な思考力や判断力、表現などのスキルなどを身につけます。

大学における学修の基礎力を学んだ後、看護学の専門的な知識を学ぶ、専門基礎科目や看護学科目を配置しています。学科科目は、看護学を統合的に学べるよう6つの分野に分類して配置されています。1年次から2年次にかけて【専門基礎科目】の分野で、看護学を支える専門基礎的な知識を学ぶため、人体の構造と機能、疾病や治療、保健医療福祉、生命や医療の倫理にかかわる科目などを学びます。そして看護学の専門的内容を学ぶ分野は、【看護学・看護実践の基本】として、看護学ならびに看護専門職としての看護実践の基本となる知識、技術、態度を学ぶ科目群が配置されています。2年次以降、人の「生・老」を中心としてヘルスプロモーションや生涯発達支援における看護実践について学ぶ【健康的な個人・家族を対象とした看護】の科目群、人の「病・死」を中心として、心身の危機的な状況や治療・回復過程にある人や慢性疾患とともに生活している人、終末期の人とその家族への看護実践について学ぶ【疾患をもつ個人・家族の看護】の科目群、集団・地域を対象とした多様な健康問題に関わるための知識・技術・態度を学ぶ【集団・地域の健康問題に関する看護】の科目群を配置しています。さらに、4年次にはそれまでの5つの分野の学びをふまえて、生涯を通じて看護学や看護実践を探究し、社会から期待される看護実践を展開していくための基盤となる内容を【看護統合】の科目群を通じて学びます。

また、「養護教諭1種」や「保健師」など自分が希望する将来の進路分野については、別途選択課程があります。さらに、心理学や薬学の知識を深めるための選択科目などが全学年を通じ開講されており、自分の取りたい科目を選択し、時間割を作成することとなります。

知識・専門性 : 学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

看護学の知識・技術・態度について体系的に修得し、臨床の場で適切に適用することができる【看護学の専門性】

学科の専門的教育を受ける前に、全学共通基礎教育課程である「武蔵野INITIAL」での諸科目を学び、大学で学ぶための学修の基礎力を養い、また卒業後に求められる社会人としての教養を身につけます。武蔵野INITIALでは、「建学」「スポーツ・身体」「情報」「外国語」「教養日本語」「CHP(Creating Happiness Program)」「フィールド・スタディーズ」「インターンシップ」「寄付講座」の科目群があります。これらの科目を学ぶことを通じて、自立的、主体的に学ぶ態度を基盤として、教養や基礎学力などの知識を獲得します。

看護学の専門的知識・技術・態度を身につけるため、学科科目の6分野の科目を学びます。看護学の基礎となる【専門基礎科目】の科目として人の体や機能を学ぶ科目、疾病や治療に関する科目、保健学・疫学を学ぶ科目が必修科目として1-2年次に配置されています。さらに、看護学を学ぶための【看護学・看護実践の基本】【健康的な個人・家族を対象とした看護】【疾患をもつ個人・家族の看護】【集団・地域の健康問題に関する看護】の分野の科目である「基礎看護実践論1-4」「看護倫理」、「母性・小児・成人・老年・精神・在宅・地域看護論1,2」「家族看護論」「終末期看護論」で基本的な知識を学び、各分野の「看護実践統合演習」でそれぞれの科目の知識・技術・態度を統合して学びます。また、各分野での実習科目で臨床の場への適用について学びます。さらに、4年次の【看護統合】の分野の「総合看護演習」で4年間の学びの振り返りを行います。

関心・態度・人格 : 他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

人々の生命、価値観や信条、生活を尊重し、人々の尊厳や人権を擁護する行動がとれる【人権の尊重】

グローバルな視点で保健・医療・福祉・看護にかかわる多様な課題を見出すことができる【課題発見力】

看護の対象に対して積極的に関わり、必要とされる援助を計画・実施・評価することができる【主体性、実行力】

看護専門職者として社会から期待される看護実践を遂行できるよう、自己研鑽できる基礎的能力を修得する【人格形成・使命感】

武蔵野INITIALの科目群の「建学」は、本学の建学の精神である仏教に触れる科目です。仏教の基本的知識を修め、仏教の立場から世界を見る態度を学びます。また「Creating Happiness Program(CHP)」ではSDGs基礎とSDGs発展の科目が配置されており、建学の精神を基盤に世界のしあわせを考える態度や人格を修得しています。

また、武蔵野INITIALの「フィールド・スタディーズ」や「インターンシップ」では、社会の現場を体験し、社会人としての態度、人格形成を目指しています。

これらの科目を基盤として、看護学を基盤とする看護専門職の役割を学び、看護専門職者としての態度、人格を育成していきます。

専門科目である「生命倫理・医療倫理学」「看護倫理」「終末期看護論」や、選択科目である「セクシュアリティ論」「死生学」で人々の生命、生活、人権についての学びを深めます。2年次で開講される【看護学・看護実践の基本】分野の「基礎看護実践」と【健康的な個人・家族を対象とした看護】分野の「ヘルスプロモーション実習」、3年次から4年次で開講される【疾患をもつ個人・家族の看護】分野の「母性看護論実習」「小児看護論実習」「成人看護論実習A」「成人看護論実習B」「老年看護論実習」「精神看護論実習」「在宅看護論実習」、【看護統合】分野の「統合実習」の10科目では、臨地の場で看護の対象となる人々と援助的に関わり看護実践を行いながら自己と他者を理解し、人々の人権の尊重、看護学の視点からの課題発見、解決、そして看護専門職者としての倫理観、自己研鑽の態度を段階的に身につけます。4年次には「看護管理論・政策論」を学び、保健・医療・福祉・看護の視点から、それまで学んできた看護学・看護実践について視野を広げていきます。

思考・判断 : 課題を多角的に捉え、創造的に考える力

看護現象について積極的に情報収集し、論理的に情報を解釈・分析・統合し、課題を妥当に判断できる【情報分析・論理的思考・判断力】

課題に対し、エビデンスに基づいて目標設定・解決策を立案することができる【課題解決力】

制約された条件の中で、課題に対する多様な解決策を発想できる思考を修得する【創造的思考力】

武蔵野INITIALの「情報」科目では、コンピュータの操作に関わるスキルを修得するのみならず、世界の様々な事象を数理的に理解するための思考力や、問題解決のための判断力を修得していきます。

武蔵野INITIALで習得した思考力、判断力を基盤とし、看護学の専門的知識・技術を用いて看護の対象となる人々の看護上の課題を明確にする力および課題解決力を養うため、「基礎看護実践論1」でクリティカルシンキング、科学的問題解決的思考の基本を学び、その後「看護統合演習2-1(看護過程展開)」で対象特性・状況への応用を学びます。また、状況把握のためのアセスメント技術や看護学の専門技術の基本を「基礎看護実践論2」「基礎看護実践論3」「基礎看護実践論4」で学び、その後「看護実践統合演習1」「看護実践統合演習2-2(援助技術)」「看護実践統合演習(地域)」で健康問題や対象に特徴的な技術を学びます。

実践的スキル・表現 : 多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

相手の意見を傾聴し、アサーティブなコミュニケーションをとることができる【コミュニケーション力】

自らの考えや看護実践を、論理的にわかりやすくまとめて表現することができる【文章力・討議力・プレゼンテーション力】

リーダーシップを理解したうえでチームメンバーとして、対象となる人々の目標達成に向けて協働・協働することができる【チームワーク】

武蔵野INITIALの科目である「建学」は、仏教の基本的知識や態度の修得のみならず、仏教を通して社会とかわる実践的スキルを身につける科目でもあります。

また武蔵野INITIALの科目の「スポーツ・身体」は、身体を動かすのに求められるスキルと表現力を修得します。

同じく武蔵野INITIALの「外国語」では、外国語の知識と運用能力としてのスキルや表現力を修得するとともに、国際社会に生きているのにふさわしい態度を育成します。

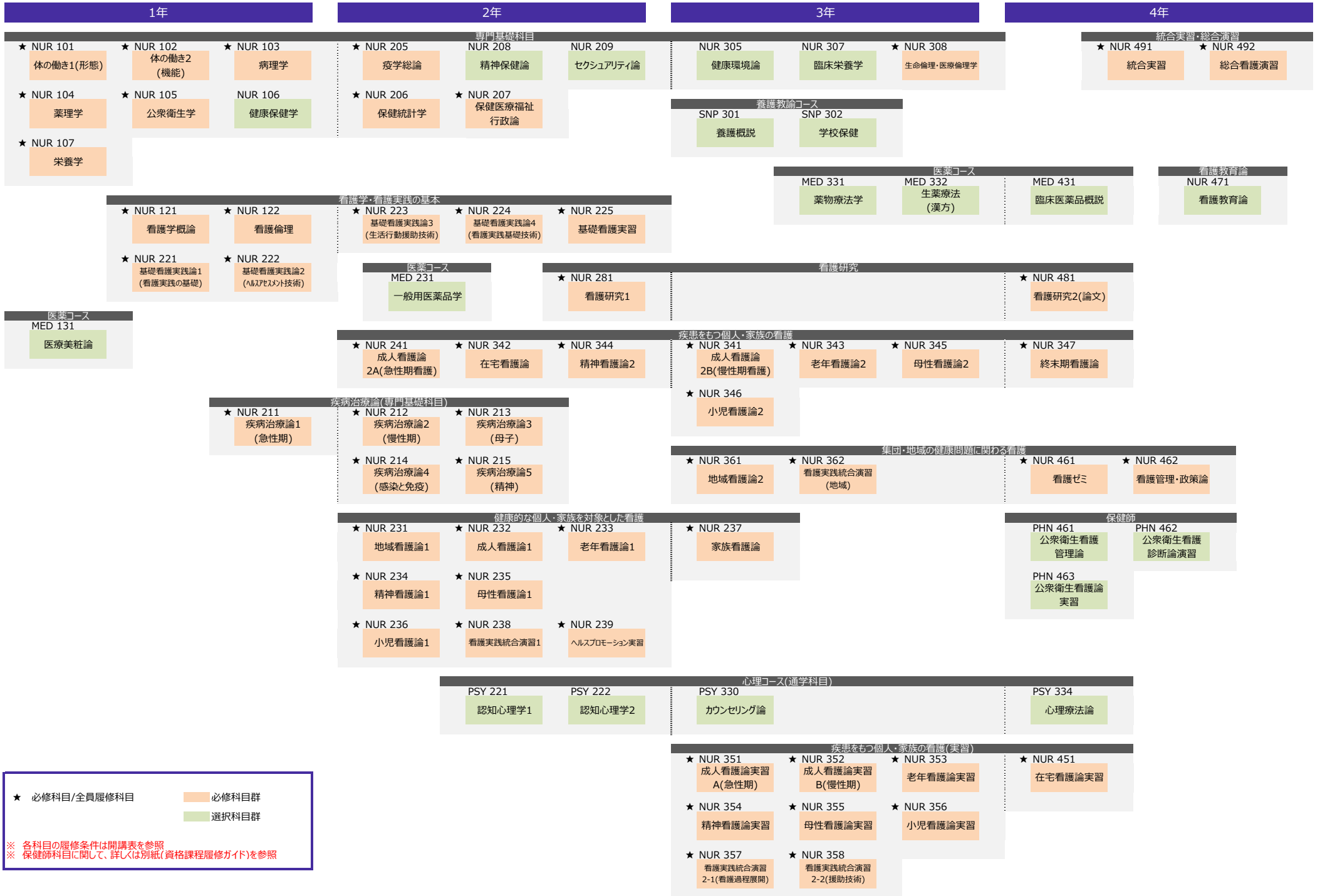
学科科目でも、あらゆる講義や演習科目において小グループによるディスカッションや発表を通して、コミュニケーション力、討議力やプレゼンテーション力を養う教授法がとられています。特に、「実習科目」や4年次の「看護ゼミ」においてはカンファレンスやディスカッション、レポート作成などを通して、看護実践について自己内省や考えを表現し発信するコミュニケーション力・伝達力・文章力を養います。さらに、2年次の「看護研究1」で論理的思考の基礎を学び、4年次には「看護研究2(論文)」において、これまでの実習科目での経験から導いた課題をテーマに、論理的思考プロセスと文章力を養います。また、4年次の「統合実習」や「看護管理・政策論」では、多職種の中での看護専門職としての役割を学び、組織・政策という視点から看護について考えます。

1年				2年				3・4年	
★ BDS 101 仏教（生き方を考える）基礎				建学				★ BDS 301 仏教（生き方を考える）発展	
HPE 101 スポーツと身体科学				HPE 201 フィールド・スポーツ					
★ SDG 101 SDG s 基礎				★ SDG 201 SDG s 発展 1				★ SDG 202 SDG s 発展 2	
				★ SDG 203 SDG s 発展 3				CHP 301 SDG s 特講	
★ ENG 101 英語基礎 A				ENG 102 英語基礎 B				★ ENG 103 英語基礎 C	
CHN 101 中国語基礎 1				CHN 102 中国語基礎 2				FRA 101 フランス語基礎 1	
GER 101 ドイツ語基礎 1				GER 102 ドイツ語基礎 2				SPA 101 スペイン語基礎 1	
KOR 101 韓国語基礎 1				KOR 102 韓国語基礎 2				AL 301 留学準備 1	
AL 101 英語資格・ 検定試験対策1				AL 102 英語資格・ 検定試験対策2				AL 302 留学準備 2	
				ENG 104 英語基礎 D					
				FRA 102 フランス語基礎 2					
				SPA 102 スペイン語基礎 2					
				AL 302 留学準備 2					
				ENG 201 英語発展 A				ENG 202 英語発展 B	
				CHN 201 中国語発展 1				CHN 202 中国語発展 2	
				GER 201 ドイツ語発展 1				GER 202 ドイツ語発展 2	
				KOR 201 韓国語発展 1				KOR 202 韓国語発展 2	
				ENG 203 英語発展 C				ENG 204 英語発展 D	
				FRA 201 フランス語発展 1				FRA 202 フランス語発展 2	
				SPA 201 スペイン語発展 1				SPA 202 スペイン語発展 2	
				ENG 301 英語総合 A				ENG 302 英語総合 B	
				SIC 201 情報技法発展 A				SIC 202 情報技法発展 B	
				SIC 204 プログラミング発展 A				SIC 205 プログラミング発展 B	
				SIC 207 機械学習活用 1				SIC 208 機械学習活用 2	
				SIC 211 メディアデザイン				SIC 213 サービスデザイン	
				SIC 203 情報技法発展 C				SIC 206 人工知能技術と社会	
				SIC 209 データサイエンス活用 1				SIC 210 データサイエンス活用 2	
				SIC 301 人工知能実践プロジェクト					
★ SIC 101 データサイエンス基礎				★ SIC 102 人工知能基礎				SIC 103 情報技法基礎	
				SIC 104 プログラミング基礎				SIC 105 メディアリテラシー	
EC 101 武蔵野市自由講座									
★ FW101 フィールド・スタディーズ				FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4				AFS 101/102/103/104 フィールド・スタディーズ発展 1A/1B/1C/1D	
				AFS 201/202/203/204/205 フィールド・スタディーズ発展 2A/2B/2C/2D/2E				AFS 301/302/303/304/305 フィールド・スタディーズ発展 3A/3B/3C/3D/3E	
								AFS 401/402/403/404 フィールド・スタディーズ発展 4A/4B/4C/4D	
LAS 101 全学教養ゼミナール 1				LAS 102 全学教養ゼミナール 2					
LAW 205 日本国憲法				SD 112 社会学				SD 126 基礎生物	
SD 128 心理学の基礎 1				SD 129 心理学の基礎 2				SD 130 人間工学	
SD 132 家族関係論								SD 127 基礎化学	
								SD 123 死生学	
								LAN 151 フィールド・スタディーズ発展 (看護)	

★ 必修科目

選択科目

*各科目の履修条件は開講表を参照



★ 必修科目/全員履修科目 ■ 必修科目群
 ■ 選択科目群

※ 各科目の履修条件は開講表を参照
 ※ 保健師科目に関して、詳しくは別紙(資格課程履修ガイド)を参照

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL (15)	必修 (15)	【建学】 <1年次> 仏教（生き方を考える）基礎 [2単位] <3年次> 仏教（生き方を考える）発展 [2単位]	4
		【情報】 データサイエンス基礎 [1単位] 人工知能基礎 [1単位]	2
		【外国語】 英語基礎A [2単位] 英語基礎C [2単位]	4
		【CHP】 SDGs 基礎 [1単位] SDGs 発展1 [1単位] SDGs 発展2 [1単位] SDGs 発展3 [1単位]	4
		【フィールド・スタディーズ】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
学科科目 (95)	必修 (95)	【専門基礎科目】 [25単位]	95
		【看護学・看護実践の基本】 [13単位]	
		【健康的な個人・家族を対象とした看護】 [13単位]	
		【疾患をもつ個人・家族の看護】 [31単位]	
		【集団・地域の健康問題に関わる看護】 [5単位]	
		【看護統合】 [8単位]	
自由選択科目 (14)		以下の科目から14単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要15単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要95単位を超えて修得した単位） ③資格取得科目（教職課程の科目） ④他学部・他学科履修許可科目 ⑤本学通信教育部で開講する認定心理士資格取得に必要な科目	14
合計			124

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「学修の手引き」の「履修計画」や「履修登録」を確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
【建学】							
BDS 101	仏教（生き方を考える）基礎	1年	2				
BDS 301	仏教（生き方を考える）発展	3年	2				
【スポーツ・身体】							
HPE 101	スポーツと身体科学	1年		1		*1	
HPE 201	フィールド・スポーツ	2年		1		*1	
【情報】							
SIC 101	データサイエンス基礎	1年	1				
SIC 102	人工知能基礎	1年	1			*1	
SIC 105	メディアリテラシー	1年		1			
SIC 103	情報技法基礎	1年		1			
SIC 201	情報技法発展A	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること		
SIC 202	情報技法発展B	2年		1			
SIC 203	情報技法発展C	2年		1			
SIC 104	プログラミング基礎	1年		1			
SIC 204	プログラミング発展A	2年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること		
SIC 205	プログラミング発展B	2年		1			
SIC 206	人工知能技術と社会	2年		1		副専攻(AI活用エキスパートコース)の学生のみ履修可能	
SIC 207	機械学習活用1	2年		1	◆「機械学習活用1」「機械学習活用2」をセットで履修すること		
SIC 208	機械学習活用2	2年		1			
SIC 209	データサイエンス活用1	2年		1	◆「データサイエンス活用1」「データサイエンス活用2」をセットで履修すること		
SIC 210	データサイエンス活用2	2年		1			
SIC 211	メディアデザイン	2年		1			
SIC 213	サービスデザイン	2年		1			
SIC 301	人工知能実践プロジェクト	3年		2			
【外国語】							
ENG 101	英語基礎A	1年	2				
ENG 102	英語基礎B	1年		1			
ENG 103	英語基礎C	1年	2				
ENG 104	英語基礎D	1年		1			
ENG 201	英語発展A	2年		1			
ENG 202	英語発展B	2年		1			
ENG 203	英語発展C	2年		1			
ENG 204	英語発展D	2年		1			
ENG 301	英語総合A	3年		1			
ENG 302	英語総合B	3年		1			
CHN 101	中国語基礎1	1年		1	◆「中国語基礎1」「中国語基礎2」をセットで履修すること	*3	
CHN 102	中国語基礎2	1年		1			
CHN 201	中国語発展1	2年		1			
CHN 202	中国語発展2	2年		1	◆「中国語発展1」を履修していること		
FRA 101	フランス語基礎1	1年		1	◆「フランス語基礎1」「フランス語基礎2」をセットで履修すること	*3	
FRA 102	フランス語基礎2	1年		1			
FRA 201	フランス語発展1	2年		1			
FRA 202	フランス語発展2	2年		1	◆「フランス語発展1」を履修していること		
GER 101	ドイツ語基礎1	1年		1	◆「ドイツ語基礎1」「ドイツ語基礎2」をセットで履修すること	*3	
GER 102	ドイツ語基礎2	1年		1			
GER 201	ドイツ語発展1	2年		1			
GER 202	ドイツ語発展2	2年		1	◆「ドイツ語発展1」を履修していること		
SPA 101	スペイン語基礎1	1年		1	◆「スペイン語基礎1」「スペイン語基礎2」をセットで履修すること	*3	
SPA 102	スペイン語基礎2	1年		1			
SPA 201	スペイン語発展1	2年		1			
SPA 202	スペイン語発展2	2年		1	◆「スペイン語発展1」を履修していること		
KOR 101	韓国語基礎1	1年		1	◆「韓国語基礎1」「韓国語基礎2」をセットで履修すること	*3	
KOR 102	韓国語基礎2	1年		1			
KOR 201	韓国語発展1	2年		1			
KOR 202	韓国語発展2	2年		1	◆「韓国語発展1」を履修していること		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
AL 301	留学準備 1	1年		1	◆「留学準備 1」「留学準備 2」をセットで履修すること ◆履修条件をシラバスで確認すること	
AL 302	留学準備 2	1年		1		
AL 101	英語資格・検定試験対策 1	1年		1	◇TOEIC550点程度の英語力があること	
AL 102	英語資格・検定試験対策 2	1年		1	◇TOEIC400点程度の英語力があること	
【CHP】						
SDG 101	S D G s 基礎	1年	1			
SDG 201	S D G s 発展 1	1年	1			
SDG 202	S D G s 発展 2	1年	1			
SDG 203	S D G s 発展 3	1年	1			
CHP 301	S D G s 特講	3年		2		
【フィールド・スタディーズ】						
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1			
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します 履修登録は不要です
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2		
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3		
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4		
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展 1 A	1年		1		詳細はガイダンスで確認すること 履修登録は不要です
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展 1 B	1年		2		
AFS 103	フィールド・スタディーズ発展 1 C	1年		3		
AFS 104	フィールド・スタディーズ発展 1 D	1年		4		
AFS 201	フィールド・スタディーズ発展 2 A	2年		1		
AFS 202	フィールド・スタディーズ発展 2 B	2年		2		
AFS 203	フィールド・スタディーズ発展 2 C	2年		3		
AFS 204	フィールド・スタディーズ発展 2 D	2年		4		
AFS 205	フィールド・スタディーズ発展 2 E	2年		5		
AFS 301	フィールド・スタディーズ発展 3 A	3年		1		
AFS 302	フィールド・スタディーズ発展 3 B	3年		2		
AFS 303	フィールド・スタディーズ発展 3 C	3年		3		
AFS 304	フィールド・スタディーズ発展 3 D	3年		4		
AFS 305	フィールド・スタディーズ発展 3 E	3年		5		
AFS 401	フィールド・スタディーズ発展 4 A	4年		1		
AFS 402	フィールド・スタディーズ発展 4 B	4年		2		
AFS 403	フィールド・スタディーズ発展 4 C	4年		3		
AFS 404	フィールド・スタディーズ発展 4 D	4年		4		
【インターンシップ】						
CD 211	インターンシップ	2年		1		
CD 212	企業協働プロジェクト	2年		2		
【全学教養ゼミナール】						
LAS 101	全学教養ゼミナール 1	1年		2		
LAS 102	全学教養ゼミナール 2	1年		2		
【寄付講座】						
EC 101	武蔵野市自由講座	1年		2		寄付講座：武蔵野市
【学科教養科目】						
LAW 205	日本国憲法	1年		2		*1 *2
SD 112	社会学	1年		2		
SD 126	基礎生物	1年		2		
SD 127	基礎化学	1年		2		
SD 128	心理学の基礎 1	1年		2	◆「心理学の基礎 1」と「心理学の基礎 2」をセットで履修すること	
SD 129	心理学の基礎 2	1年		2		
SD 130	人間工学	1年		2		
SD 133	ケアマネジメント論	1年		2		
SD 132	家族関係論	1年		2		
SD 123	死生学	2年		2		
LAN 151	フィールド・スタディーズ発展（看護）	2年		4		

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

*1 養護教諭（1種・2種）は必修

*2 保健師は必修

*3 履修登録方法については、2022年度の前期履修登録期間前にMUSCAT掲示がありますので詳細をご確認ください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【専門基礎科目】						
NUR 101	体の働き1(形態)	1年	1			
NUR 102	体の働き2(機能)	1年	1			
NUR 103	病理学	1年	2			
NUR 211	疾病治療論1(急性期)	1年	2			
NUR 212	疾病治療論2(慢性期)	2年	2			
NUR 213	疾病治療論3(母子)	2年	2			
NUR 214	疾病治療論4(感染と免疫)	2年	1			
NUR 215	疾病治療論5(精神)	2年	1			
NUR 107	栄養学	1年	1			
NUR 104	薬理学	1年	2			
NUR 105	公衆衛生学	1年	2			
NUR 205	疫学総論	2年	2			
NUR 206	保健統計学	2年	2			
NUR 207	保健医療福祉行政論	2年	2			
NUR 308	生命倫理・医療倫理学	3年	2			
NUR 106	健康保健学	1年		2		※2
NUR 305	健康環境論	3年		2		※1 ※2
NUR 307	臨床栄養学	3年		1		※1
NUR 208	精神保健論	2年		1		
NUR 209	セクシュアリティ論	2年		1		
【看護学・看護実践の基本】						
NUR 121	看護学概論	1年	2			
NUR 225	基礎看護実習	2年	3			
NUR 221	基礎看護実践論1(看護実践の基礎)	1年	1			
NUR 222	基礎看護実践論2(ヘルスアセスメント技術)	1年	2			
NUR 223	基礎看護実践論3(生活行動援助技術)	2年	2			
NUR 224	基礎看護実践論4(看護実践基礎技術)	2年	2			
NUR 122	看護倫理	1年	1			
【健康的な個人・家族を対象とした看護】						
NUR 231	地域看護論1	2年	2			
NUR 232	成人看護論1	2年	1			
NUR 233	老年看護論1	2年	2			
NUR 234	精神看護論1	2年	1			
NUR 235	母性看護論1	2年	2			
NUR 236	小児看護論1	2年	1			
NUR 237	家族看護論	3年	1			
NUR 238	看護実践統合演習1	2年	1			
NUR 239	ヘルスプロモーション実習	2年	2			
【疾患をもつ個人・家族の看護】						
NUR 241	成人看護論2A(急性期看護)	2年	2			
NUR 341	成人看護論2B(慢性期看護)	3年	2			
NUR 343	老年看護論2	3年	1			
NUR 342	在宅看護論	2年	2			
NUR 357	看護実践統合演習2-1(看護過程展開)	3年	1			
NUR 358	看護実践統合演習2-2(援助技術)	3年	2			
NUR 344	精神看護論2	2年	2			
NUR 347	終末期看護論	4年	1			
NUR 345	母性看護論2	3年	1			
NUR 346	小児看護論2	3年	2			
NUR 353	老年看護論実習	3年	2			
NUR 354	精神看護論実習	3年	2			
NUR 355	母性看護論実習	3年	2			
NUR 356	小児看護論実習	3年	2			

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
NUR 351	成人看護論実習A(急性期)	3年	2			
NUR 352	成人看護論実習B(慢性期)	3年	2			
NUR 451	在宅看護論実習	4年	3			
【集団・地域の健康問題に関わる看護】						
NUR 361	地域看護論2	3年	2			
NUR 362	看護実践統合演習(地域)	3年	1			
NUR 462	看護管理・政策論	4年	1			
NUR 461	看護ゼミ	4年	1			
PHN 461	公衆衛生看護管理論	4年		1		※2
PHN 462	公衆衛生看護診断論演習	4年		1		※2
PHN 463	公衆衛生看護論実習	4年		2		※2
【看護統合】						
NUR 471	看護教育論	4年		1		2022年度休講
NUR 281	看護研究1	2年	1			
NUR 481	看護研究2(論文)	4年	3			
NUR 492	総合看護演習	4年	1			
NUR 491	統合実習	4年	3			
【自由選択科目】						
【心理コース】						
PSY 221	認知心理学1	2年		2	「認定心理士」資格取得のためには、看護学部の「心理コース」科目と本学通信教育部の該当科目も併せて必修。	※3
PSY 222	認知心理学2	2年		2		※3
PSY 330	カウンセリング論	3年		2		※3
PSY 334	心理療法論	4年		2		※3
【医薬コース】						
MED 331	薬物療法学	3年		1		
MED 431	臨床医薬品概説	4年		2		
MED 131	医療美粧論	1年		1		
MED 332	生薬療法(漢方)	3年		1		
MED 231	一般用医薬品学	2年		1		
【養護教諭コース】						
SNP 301	養護概説	3年		2		※1
SNP 302	学校保健	3年		2		※1

※1 養護教諭(1種)は必修

※2 保健師は必修

※3 認定心理士は必修

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

※ 単位を落とした必修科目に関しては、その科目に対応する「○○○」再履修クラス(○○は科目名)を履修すること。

例：栄養学を落とした場合、「栄養学 再履修クラス」を履修。別途掲示を参照し、受講方法を確認すること。

但し、資格必修科目を再履修する場合は「再履修クラス」ではなく通常の科目を各自履修登録すること。

通信教育部 ※3「認定心理士」資格取得のための必修科目

開講表

2022年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
—	心理測定法	1年		4	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3
—	パーソナリティ心理学	2年		4	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3
—	心理学実験実習1	2年		2	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3
—	心理学実験実習2	4年		2	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3
—	発達心理学	3年		4	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3
—	臨床心理学	3年		4	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3
—	社会心理学	3年		4	通信科目ガイダンス(4月)への出席が必須。	※3

※3 認定心理士は必修

看護学科 履修モデル 2021年度入学生

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上記載の学年で履修できない場合があります。

【モデル名】

【進路イメージ】

【モデル概要】

看護師

- 大学病院などの医療機関 ●保健所 ●老人保健施設 ●市町村保健センター
- 看護・保険・福祉・介護関連企業 ●(健康管理部門) ●教育機関
- 大学院進学など

看護師国家試験合格を目的としたモデル

科目区分		1年	2年	3年	4年		
武蔵野 INITIAL (15)	必修 (15)	建学	仏教(生き方を考える)基礎 2		仏教(生き方を考える)発展 2		
		情報	データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照			
			人工知能基礎 1				
		外国語	英語基礎 A 2				
			英語基礎 C 2				
		CHP	S D G s 基礎 1				
			S D G s 発展 1 1				
S D G s 発展 2 1							
フィールド・スタディーズ	S D G s 発展 3 1						
		フィールド・スタディーズ 1					
学科科目 (95)	必修 (95)	体の働き1(形態) 1	疾病治療論2(慢性期) 2	家族看護論 1	終末期看護論 1		
		体の働き2(機能) 1	疾病治療論3(母子) 2	成人看護論2B(慢性期看護) 2	在宅看護論実習 3		
		病理学 2	疾病治療論4(感染と免疫) 1	老年看護論2 1	看護管理・政策論 1		
		疾病治療論1(急性期) 2	疾病治療論5(精神) 1	看護実践統合演習2-1(看護過程展開) 1	看護ゼミ 1		
		栄養学 1	疫学総論 2	看護実践統合演習2-2(援助技術) 2	看護研究2(論文) 3		
		薬理学 2	保健統計学 2	母性看護論2 1	総合看護演習 1		
		公衆衛生学 2	基礎看護実習 3	小児看護論2 2	統合実習 3		
		看護学概論 2	保健医療福祉行政論 2	生命倫理・医療倫理学 2			
		基礎看護実践1(看護実践の基礎) 1	基礎看護実践3(生活行動援助技術) 2	老年看護論実習 2			
		基礎看護実践2(ヘルスアセスメント技術) 2	基礎看護実践4(看護実践基礎技術) 2	精神看護論実習 2			
		看護倫理 1	地域看護論1 2	母性看護論実習 2			
			成人看護論1 1	小児看護論実習 2			
			老年看護論1 2	成人看護論実習A(急性期) 2			
			精神看護論1 1	成人看護論実習B(慢性期) 2			
			母性看護論1 2	地域看護論2 2			
			小児看護論1 1	看護実践統合演習(地域) 1			
			看護実践統合演習1 1				
			ヘルスプロモーション実習 2				
			成人看護論2A(急性期看護) 2				
			在宅看護論 2				
			精神看護論2 2				
			看護研究1 1				
		自由選択科目 (14)	武蔵野INITIAL (所要15単位を超えて修得した単位)	※1 スポーツと身体科学 1	※1 フィールド・スポーツ 1		
				※1※2 日本国憲法 2			
				社会学 2			
				基礎生物 2			
				基礎化学 2			
※3 心理学の基礎 1 2							
※3 心理学の基礎 2 2							
家族関係論 2							
※2 健康保健学 2	精神保健論 1		※1※2 健康環境論 2	※2 公衆衛生看護管理論 1			
学科科目 (所要95単位を超えて修得した単位)	セクシュアリティ論 1		※1 臨床栄養学 1	※2 公衆衛生看護診断論演習 1			
				※2 公衆衛生看護論実習 2			
				看護教育論 1			
他学部・他学科履修許可科目							
自由選択科目 【心理コース(通学科目)】			※3 認知心理学1 2	※3 カウンセリング論 2	※3 心理療法論 2		
自由選択科目 【心理コース(通信科目)】CAP外 ◆通信科目ガイダンス(4月)に出席	※3 心理測定法 4	※3 パーソナリティ心理学 2	※3 発達心理学 4	※3 心理学実験実習(中級) 2			
自由選択科目 【医薬コース】	医療美粧論 1	※3 心理学実験実習(初級) 2	※3 臨床心理学 4				
		※3 社会心理学 4					
		薬物療法学 1	臨床医薬品概説 2				
		一般用医薬品学 1	生薬療法(漢方) 1				
自由選択科目 【看護教論コース】			※1 看護概説 2				
			※1 学校保健 2				
教職科目 CAP外	※1 教師論 2	※1 学校の制度 2	※1 特別支援教育 2	※1 看護実習 5			
	※1 教育原理 2	※1 教育課程論 2	※1 道徳教育の理論と方法(特別活動を含む) 2	※1 教職実践演習(看護教論) 2			
	※1 発達と学習 2	※1 生徒指導・進路指導論 2	※1 教育方法論 2				
	※1 教育相談(カウンセリングを含む) 2						
備考	10単位分を自由選択科目から履修推奨(但し看護教論は※1の11単位、保健師は※2の4単位、認定心理士は※3の8単位を含むこと)	6単位分を自由選択科目から履修推奨(但し看護教論は※1の7単位、認定心理士は※3の10単位を含むこと)	看護教論は※1の13単位、保健師は※2の2単位、認定心理士は※3の14単位を含むこと	看護教論は※1の7単位、保健師は※2の4単位、認定心理士は※3の4単位を含むこと			
必修科目単位数 小計	30	38	29	22			
CAP(履修上限単位数)※4	50	50	50	50			
卒業所要単位数			124				

※1 看護教論(1種)は必修 ※2 保健師は必修 ※3 認定心理士は必修 ※4 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野INITIAL、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

●卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位表

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
学科科目	必修		
	選択必修		
自由選択科目※	選択		
		以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・	

武蔵野INITIALのうち、必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】						
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

科目の分類を表します。

<開講年次>
履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。